



産直ニュース（農・畜・水産）12週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協支所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
12週	登録いちご2次B					予約いちご⑫			
	不知火⑤					甘夏①			
13週	登録いちご3次A		3次予約いちご①			うすいえんどう①			
	木成りはっさく①		甘夏②						
14週	登録いちご3次B		3次予約いちご②			うすいえんどう②			
	木成りはっさく②		甘夏③		筍(!)				
15週	登録いちご3次A					3次予約いちご③			
	木成りはっさく③					甘夏④			

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

■バラゴンバナナ収穫量減少

季節風の影響でネグロス島を中心に収穫量が減少しており、当面の間以下の規格価格変更にてお届けいたします。

◇当初規格 1 kg (税込 575 円) →変更後 700 g (税込 402 円)

◇当初規格 3 kg (税込 1577 円) →変更後 2 kg (税込 1050 円)

納品書での品名は元のままですが、価格は修正しております。ご確認宜しくお願いします。

■マキララ（バラゴンバナナ産地）地震被害 その後…



余震を考慮して木や竹を使用した避難住民用住居を、ドンボスコ敷地内に建設。

◇生産者の多くは今でも避難生活を続けています。断層の関係で、元々住んでいた村が居住禁止区域に指定された村も多く、新たな移転先を探している段階です。ドンボスコ財団（マキララにおける出荷責任団体）が位置するバタサン村の生産者も行き先を失ったため、財団の敷地の一部を提供し、いったん集落ごと引き受けています。その集落の人々が、さらなる移転先が見つかるまでの間少し落ち着いて生活できるよう、家の建設も始まっています。支援金で竹や木材などを購入、建設作業自体は、住民自身が担っています。各家の前の一部を家庭菜園として使い自分たちの食べるものを栽培できるようにすることも予定しています。

ドンボスコ財団は、生活が困窮し希望を失った若者が反政府武装勢力に加わる現実に対し、武力により地域の平和を創り出すことはできないと信じています。貧困問題の解決には、持続可能な農業を推進し、有機農業の研究・研修、種の自家採取と保存、農産物の加工品開発を行うとともに、農民がそれを基盤にして暮らしを立てていくことが必要と考え、バラゴンバナナへの取り組みを推進してきました。この活動方針・内容は「民衆交易」に込められている意義そのものである、といえます。ATJでは今回の地震被災を克服し、それを一層広く深く展開してもらうために、今後もドンボスコ財団の再建に出来る限り協力していきたいと考えています。

…2020年2月28日発信

(株)オルター・トレード・ジャパン「マキララ町の状況」より

◇カンパへのご協力ありがとうございました！

生活クラブ関西カタログ7週で企画した「支援カンパ」は、合計3118口(1,559,000円)と多くの支援が寄せられました。ATJを通じ、自らも大きな被害を抱えながら、周辺地域の被災者への支援を展開しているドンボスコ財団への支援とさせていただきます。



ATJ社員手作りの「おかゆ」を配給